

クモガタヒョウモン

兵庫県：C

Nephargynnis anadyomene ella

環境省：—

種の概要

前翅長33～42mm程度。翅の表面は緑色を帯びた黄褐色で、黒斑を散布する。後翅裏面の地色は淡緑色、前翅裏面は翅端部が淡緑色。低山地の雑木林に生息し、幼虫はタチツボスミレなどを食べる。年1化性で、成虫は5月に羽化し、夏季はほとんど活動せずに休眠し、秋に再び現れて10月～11月頃まで見られる。アザミ類などの花によく集まる。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、四国、九州、徳島、対馬

県内分布記録

神戸市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、加古川市、三木市、小野市、加西市、多可町、姫路市、神河町、市川町、福崎町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、洲本市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

県内のほぼ全域に記録はあるが、ヒョウモン類が激減する以前から他のヒョウモン類に比べて個体数が少ない。南部では開発や農地、河川の改変、農業の機械化などでスミレが茂るススキ・チガヤ草原環境が消滅。北部でも草原環境が減少したことにより個体数も減少した。

保護上の留意点